

Ⅱ．結果の要約

1．出生数は減少

出生数は7,122人で、前年の7,424人より302人減少した。
出生率（人口千対）は7.3で、前年の7.6を下回った。
合計特殊出生率は1.52で、前年の1.53を下回った。

2．死亡数は増加

死亡数は12,773人で、前年の12,435人より338人増加した。
死亡率（人口千対）は13.1で、前年の12.7を上回った。
死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患（高血圧性を除く）、第3位は肺炎であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ27.0%、18.0%、10.6%となっている。

3．自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△5,651人で、前年の△5,011人より640人減少した。
自然増減率（人口千対）は△5.8で、前年の△5.1を下回った。
平成10年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4．死産数は増加

死産数は173胎で、前年の159胎より14胎増加した。
死産率（出産千対）は23.7で、前年の21.0を上回った。

5．婚姻件数は減少

婚姻件数は4,618組で、前年の4,664組より46組減少した。
婚姻率（人口千対）は4.7で、前年の4.7と同率だった。

6．離婚件数は増加

離婚件数は1,961組で、前年の1,959組より2組増加した。
離婚率（人口千対）は2.01で、前年の1.99を上回った。

※表中の数値は、四捨五入によっているため、端数において合計が一致しない場合がある。